



むすめ歌舞伎●つれづれ
日本の魅力を探る



紅葉の美しい頃となってまいりました。皆様には、お変わりなくお過ごしのことと存じお慶び申し上げます。「むすめ歌舞伎公演」もお陰さまで33回目を数えるに至りました。これは偏に皆様の暖かいご厚情の賜と、心より御礼申し上げます。私どもは伝承の場を設け学びたいという思いから始めました。これまで多くの女性、子供達が、むすめ歌舞伎公演を通して、日本の古典の心、面白さに触れて巣立ってまいりました。

2007年より、團十郎先生のお力添えの元、男女の役者による、歌舞伎公演をお能舞台で実施、それ以後、古典作品を日本の最も古い舞台空間の中で、味わっていただいております。当日は、御講師に、国立劇場で数々の伝統の作品の補綴、演出に関わられておられる、織田紘二先生、能樂を現代に的確にお伝えになられ、詩人でもあられる村瀬和子先生にお願いしてお話を頂きます。

本公演では、伝統芸能の美しさ、面白さを、伝えられますよう、出演者一同一生懸命稽古を致しております。皆様におかれましては、何卒ご来場頂きまして、一層のご指導、ご感想を賜りますよう、伏してお願い申し上げます。

平成 27 年 錦秋

名古屋むすめ歌舞伎